



2025年12月10日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、“最強の売れるメディアプラットフォーム”に本格AI導入

～成果報酬型広告の最適化と収益性向上を加速～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れるネット広告社株式会社は、広告運用にて展開している「最強の売れるメディアプラットフォーム」に AI 技術を新たに導入し、広告成果の最適化を一層強化する取り組みを開始することをお知らせいたします。

これにより、プラットフォーム内における案件選定・メディア配置・成果改善の精度向上が期待でき、成果報酬型広告事業の成長基盤がさらに強化されます。

■ AI導入の目的

近年、ユーザー行動・メディア特性の変化が急速に進む中、従来の手動運用では十分に対応しきれないケースが増えてきています。

AIを導入することで、

- ・メディアごとの成果傾向
- ・案件別の相性
- ・特集ページでの反応
- ・伸びる訴求の兆候

など膨大なデータを解析し、掲載判断や改善サイクルを高度化することを目的としています。

■ 導入された AI による主な機能

① メディアごとの成果解析

各媒体の成果データを AI が自動で分析し、“どの案件が成果につながりやすいか”を可視化。

② 特集ページの構成最適化

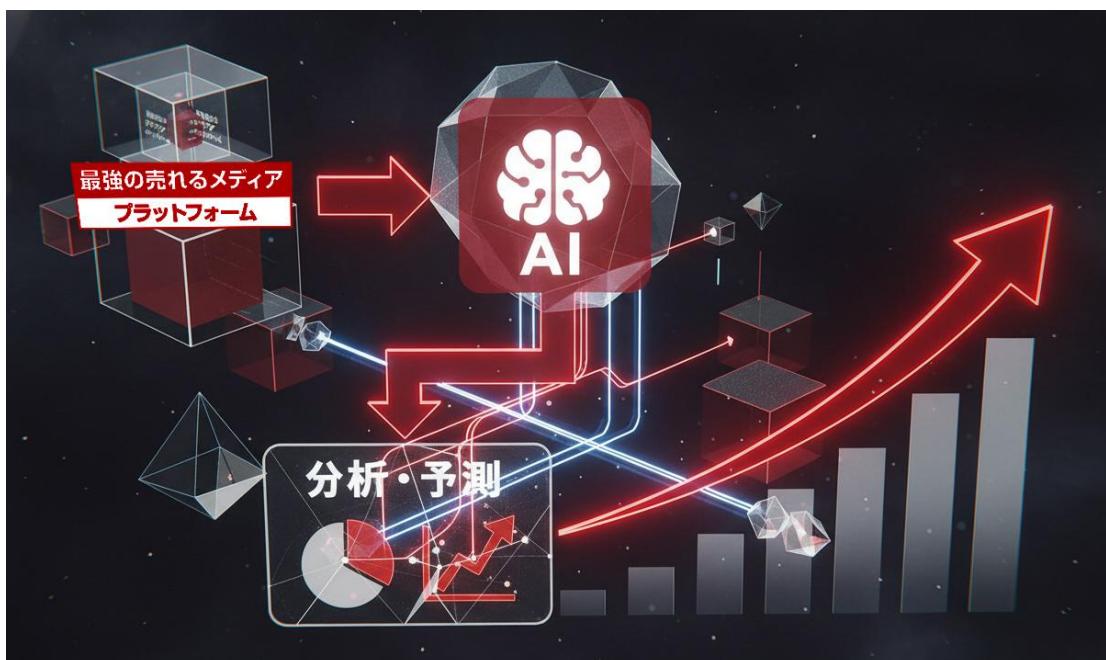
美容・健康・無料モニターなど特集ページにおいて、成果が高い案件の組み合わせを AI が提案し、CVR 向上に寄与。

③ 掲載改善ポイントの自動提示

訴求内容・掲載順・媒体特性などから改善ポイントを抽出し、媒体側の PDCA をスピードアップ。

④ 成果の伸び兆候を予測

広告主案件の成果トレンドを捉え、伸びる可能性の高い案件を優先的にメディアへ案内。



■ 期待される効果

AI 導入により、以下のような改善が見込まれます。

- ・メディアの収益性向上
- ・反応の高い案件配置による成果安定化
- ・運用精度の向上
- ・全体の成果報酬額の底上げ
- ・メディアネットワークの質の強化

媒体・広告主・ユーザーの三者にメリットが生まれ、プラットフォーム全体の成長サイクルがさらに加速します。

■ 今後の展開

AI 導入は売れるネット広告社における“成果最適化プロジェクト”の重要なステップであり、今後も以下の拡張を予定しています。

- ・メディア成果スコア機能の提供
- ・掲載位置自動最適化の高度化
- ・オフライン媒体データとの連動
- ・学習モデルの定期アップデート
- ・先行配信アルゴリズムの強化

これにより、データドリブンな広告運用基盤をさらに発展させ、業界におけるリーディングポジションを確固たるものにしてまいります。

なお、本件は2026年7月期の売れるネット広告社グループの連結業績にプラス寄与見込みです。

■ 投資家の皆様へ

今回のAI導入は、売れるネット広告社の成長を支えるメディアプラットフォーム事業の競争力を高める取り組みであり、成果報酬型広告モデルの収益性向上に直結する重要な施策です。

継続的なプロダクト強化とネットワーク拡大により、中長期的な事業成長および企業価値の向上を目指してまいります。

以上